

第2次亀山市観光振興ビジョンに関する実績等報告書(令和7年度)

(産業環境部 商工観光課)

■計画の基本情報

計画期間	R 4 ～ R 8 年度
位置付け	本ビジョンは、第2次亀山市総合計画後期基本計画の基本施策「まちづくり観光の活性化」及び観光立国推進基本法第4条に基づく、地方公共団体の区域特性を生かした施策として策定したものであり、本市の観光分野における基本計画として位置付けている。
目的・概要	本ビジョンは、新たなニーズに適応するとともに、改めて地域の資源を見つめなおして、本市の特徴を生かした観光振興の在り方について整理し、本市の将来像である「歴史・ひと・自然が心地よい 緑の健都 かめやま」の実現に向け、基本戦略に基づく総合的、計画的な観光振興方策を位置付けることを目的とする。

計画の骨格



■基本戦略1 観光資源のクオリティアップ

1-1	新たな観光資源の創出
施策1	地域資源の創出
1-2	エコツーリズムの創出
施策2	地域振興と地域活性化につながるエコツーリズムの創出
1-3	観光資源の磨き上げによる魅力度の向上
施策3	自然観光の磨き上げ
施策4	歴史観光の磨き上げ
施策5	産業観光の磨き上げ
施策6	広域観光の磨き上げ
施策7	観光施設の再整備と組織強化

■基本戦略2 情報発信のクオリティアップ

2-1	効果的な情報発信による知名度向上
施策8	効果的な情報発信と観光DXの推進
2-2	観光統計データ等の収集
施策9	観光統計データ等に基づく効果的なプロモーション展開

■基本戦略3 ポストコロナ時代における観光のクオリティアップ

3-1	質的な観光振興への取り組み
施策10	変化する世の中で選ばれ続けるための質的な観光振興
3-2	感染リスクの低減対策
施策11	旅行者と地域住民の感染リスク低減対策

■成果指標

成果指標名			現状値 (R2)	実績値 (R7)	目標値
		単位			
1	観光入込客数	人	183,001	208,541	235,000
2	エコツーリズムのイベント開催数	回	13	10	20
3	エコツーリズムのイベント参加人数	人	141	99	300
4	亀山市観光協会ホームページ訪問者数	人	181,722	292,753	250,000
5	関宿内店舗数	店舗	30	51	35
6	まちづくり観光に関わる団体数	団体	84	74	85

■計画の実績等

取組実績	観光プロモーション事業において、“観光三重”内の特設WEBサイトを更新するとともに、「歩」をテーマにした取材レポートを2本作成し、WEBサイトへ掲載した。また、商工観光課instagram等のSNSを活用した情報発信を行った。さらに、亀山版グリーンツーリズム「かめぐり」を活用して、旅行業者を対象にモニターツアーを実施した。亀山市観光協会については、亀山市観光協会への補助金交付や運営支援を行うことで、観光案内、観光情報の発信及びフィルムコミッションの運営のほか、城郭めぐりスタンプラリー、東海道ひなまつり等の事業の実施につながった。また、亀山市の魅力発信や誘客促進のため、国の重要文化財に指定されている関地蔵院を活用した関宿にぎわいづくりの取り組みを支援した。 亀山7座トレイル整備・活用推進事業については、イベントを10回開催し、99名の参加があった。登山道の調査は、登山指導員により6回実施し、トレイルの開催前に登山ルートの安全を確認した。また、亀山7座を完登した79人に完登バッジの交付を行った。
成果	観光プロモーション事業において、WEB特設サイトやSNSで市の魅力を広く発信した結果、観光入込客数は目標値を下回ったものの、公式Instagramのフォロワー数が当初600人であったが、2,060人を突破するなど認知度は向上した。また、亀山版エコツーリズム「かめぐり」のモニターツアーを実施し、今後の商品化に向けた準備を整えることができた。 亀山市観光協会のホームページへの訪問者数は292,753人と目標値を大幅に上回っており、この4年間右肩上がりとなっていることから、効果的な市の観光PRができた。また、フィルムコミッションの運営や東海道ひなまつりの開催等により、市内観光地の活性化を推進した。さらに、他市の観光協会と連携して7つの城郭を巡るスタンプラリーを行うなど、広域連携の強化に寄与した。 また、亀山7座を活用したトレッキングイベントは、参加者のニーズ等を勘案し12回計画したものの、募集数120人に対し176人の応募がある程の根強い人気のイベントとして、自然観光を通じた本市の魅力向上につなげることができた。
総合計画 推進への 寄与度	3. 交通拠点性を生かした都市活力の向上 (4)まちづくり観光の活性化 WEB特設サイトの更新やSNSの活用により、積極的に亀山市の情報発信を行い、知名度向上を図っている。

反省点・課題	情報発信を強化することにより、亀山市の魅力を伝えることはできたが、今後は市内への誘客を促進するための取り組みが必要である。亀山版グリーンツーリズムを展開するため、令和7年度に実施したモニターツアーの検証結果を踏まえながら、商品化に向けたPR活動を行うなど、本市への誘客に向けた取り組みが必要である。
--------	--

今後の方向性	WEB特設サイトの更新やSNSを活用し、効果的な情報発信を行うとともに、教育旅行をターゲットとした亀山版グリーンツーリズムを展開し、市内観光施設への誘客を図る。
--------	---